電話のかけかた／受けかた

電話のかけかた

電話をかけます 58
音声電話中にテレビ電話に切り替えます 62
自局電話番号を音声電話中画面に表示するかどうかを設定します
. . . . . ＜通話中自局番号表示設定＞ 63
前にかけた相手にかけ直します . . . . . ＜リダイヤル＞ 64
１回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にします 66
プッシュ信号（DTMF）を送ります 68
国際電話を利用します . . . . . ＜WORLD CALL＞ 69
サブアドレスを指定して電話をかけます 71
途切れた電話を再接続するときのアラームを設定します . . . . . ＜再接続アラーム＞ 71
車の中で手を使わずに話します . . . . . ＜車載ハンズフリー＞ 72

電話の受けかた

電話を受けます 73
テレビ電話への切り替えに応じます 76
自動で電話を受けます . . . . . ＜オートスピーカーホン機能＞ 76
着信履歴を利用します . . . . . ＜着信履歴＞ 77
相手の声の音量を調節します . . . . . ＜受話音量＞ 80
着信音の音量を調節します . . . . . ＜着信音量＞ 81

電話に出られないとき／出られなかったとき

すぐに電話に出られないとき保留にします . . . . . ＜応答保留＞ 84
運転中や通話を控える必要のある場所で電話を受けないようにします
. . . . . ＜公共モード（ドライブモード）＞ 85
電源を切る必要のある場所で電話を受けないようにします
. . . . . ＜公共モード（電源 OFF）＞ 88
電話に出られないときに用件を録音／録画します . . . . . ＜伝言メモ＞ 89
着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画します . . . ＜クイック伝言メモ＞ 93
伝言メモを再生／削除します 94

電話をかけます

FOMA端末では、音声のみで利用する音声電話と、映像を利用するテレビ電話の2種類の方法で電話をかけることができます。ここでは、音声電話のかけかたを説明します。

- 通話中はアンテナ部分を手で覆わないでください。
- 相手の携帯電話の電源が入っていないとき、または相手が電波の届かない所にいるときには、音声ガイダンスで接続できないことをお知らせします。
- ダイヤル発信制限中は、緊急通報（110番、119番、118番）以外は電話番号を入力して電話をかけることはできません。→P196

1 待受画面で電話番号を入力する

一般電話にかける	市外局番－市内局番－電話番号 • 同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
携帯電話にかける	090－XXXX－XXXX 080－XXXX－XXXX
PHSにかける	070－XXXX－XXXX

- 最大80桁入力できます。
- 戻る：電話番号を訂正できます。1秒以上押すと待受画面に戻ります。

2 を押す

「プップップッ」という発信音が聞こえます。相手が出たらお話しください。

- 通話中自局番号表示設定を「1 表示する」に設定している場合は、自分の電話番号が表示されます。→P63

■「ツーツー」という音が聞こえたとき

相手がお話し中です。を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。→P64

■ 発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえたとき

を押していったん発信を終了し、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。→P53、P66

3 お話しが終わったらを押す

- FOMA端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

お知らせ

- 📞を押してから電話番号を入力しても、約5秒経過すると自動的に音声電話がかかります。
- 発信者番号の通知／非通知を指定しないで電話番号を入力して電話をかけた場合は、発信者番号通知の設定に従って動作します。→P53
- 複数の通信機能を同時に利用することができます（マルチアクセス）。→P604

自動はっきりボイスの設定

お買い上げ時　はっきりボイスオン

自動はっきりボイスをオンに設定すると、音声電話中に周囲の騒音レベルを測定し、一定レベルを超えて騒音が大きくなった場合に、自動で相手の声を強調し、聞き取りやすくします。

- スピーカーホン機能使用中は、本機能は動作しません。
- 自動はっきりボイスの設定内容は、通話終了後も保持されます。
- 本機能は音量を調節するものではありません。相手の声の音量は、受話音量で調節してください。→P80

1 通話中にメニュー▶「6はっきりボイスオフ」または「6はっきりボイスオン」を押す

自動はっきりボイスをオンに設定すると青色で表示されます。スピーカーホン機能使用中はグレーで表示されます。

ゆっくりボイスの設定

お買い上げ時　ゆっくりボイスオフ

音声電話中の相手の話す速度が調節されて聞き取りやすくなります。

- スピーカーホン機能使用中でも、本機能は動作します。
- ゆっくりボイスの設定内容は、通話を終了すると解除されます。

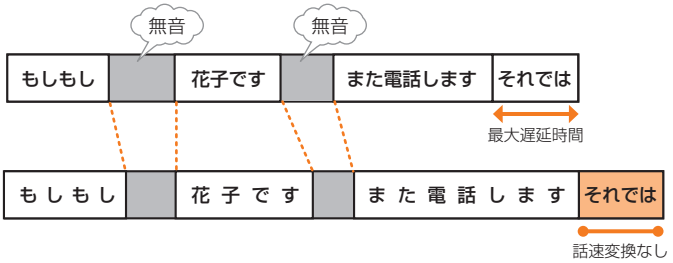
次ページへ

1 通話中に（ゆっくりボイス）を押す

●ゆっくりボイスを設定中に（ゆっくりボイス）：
ゆっくりボイスを解除します。

ゆっくりボイスとは

無音区間を利用して、相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節する機能です。

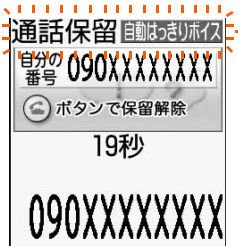


●ゆっくりボイスを設定すると、相手の声質が変化する場合があります。
●相手が区切りのない話しかたをしたときなど、ゆっくりボイスが機能しない場合は、通常の速度に聞こえます。
●時報や音楽などを聞くときは、ゆっくりボイスを設定しないでください。

音声電話の通話中保留

自分の声が相手に聞こえないように通話を保留にします。
●保留中も、電話をかけた方に通話料金がかかります。
●保留中にFOMA端末を折り畳むと、電話は切れます。

1 通話中に 決定 を押す



点滅します。
左の画面が表示され、ランプが点滅します。自分のFOMA端末と相手にメロディ（エンターテイナー）が流れます。
● 決定 ／（電話）：保留を解除します。

お知らせ

- 保留中に流れるメロディ（エンターテイナー）は変更できません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続して保留中にFOMA端末を折り畳んだ場合は、保留は継続されます。

スピーカーホン機能の使いかた

相手の声がスピーカーから聞こえる状態で通話できます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続中は、本機能を使用できません。
- FOMA端末から約50cm以内の距離でお話しください。
- スピーカーホン機能を使用した通話に切り替えると、音量が急に大きくなりますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。
- スピーカーホン機能は、通話を終了すると解除されます。

1 通話中に（通話）または（電話帳）を押す

ディスプレイ上部に が表示されます。

- （通話）または（電話帳）を押すたびにスピーカーホン機能を使用した通話と受話口からの通話が切り替わります。
- 発信中または呼出中に（通話）を押しても、スピーカーホン機能を使用した通話と受話口からの通話が切り替わります。

お知らせ

- 通話中、周囲や相手側の雑音が大きい場合は、聞き取りにくいことがあります。その場合は受話口からの通話に切り替えてください。

音声電話中のサブメニューからの操作について

サブメニュー（→P37）から次の操作ができます。

サブメニュー	説　明	参照先
1 テレビ電話へ切替	テレビ電話へ切り替えます。 • 着信した場合は切り替えられません。 • 保留中は切り替えられません。	P62
2 通話を保留／ 2 保留を解除	通話を保留または保留を解除します。	P60
3 電話帳を見る	電話帳を表示します。	P130
4 着信履歴を見る	着信履歴を表示します。	P77
5 リダイヤルを見る	リダイヤルを表示します。	P64
6 はっきりボイスオフ／ 6 はっきりボイスオン	自動はっきりボイスをオフまたはオンに切り替えます。	P59

次ページへ

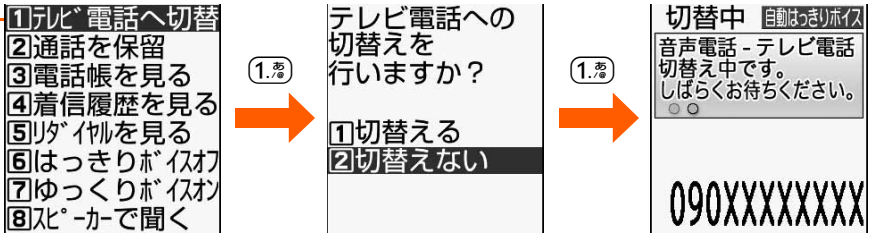
サブメニュー	説　明	参照先
7 ゆっくりボイスオン／7 ゆっくりボイスオフ	ゆっくりボイスをオンまたはオフに切り替えます。 • 保留中はオン／オフを切り替えられません。	P59
8 スピーカーで聞く／8 受話口で聞く	スピーカーホン機能を設定または解除します。 • 保留中はスピーカー／受話口を切り替えられません。	P61
9 日付時刻の設定	日付・時刻を設定します。	P51
0 自分の電話番号	自分の電話番号（自局電話番号）を表示します。	P54

音声電話中にテレビ電話に切り替えます

音声電話中にテレビ電話に切り替えることができます。切り替えは、音声電話をかけた側の端末からのみ操作できます。

- 音声電話／テレビ電話切り替え対応機種どうしでご利用いただけます。
- テレビ電話と音声電話の通話時間に応じて、通話料金がそれぞれ加算されます。
- 切り替え操作を行うには、相手がテレビ電話切替え通知を開始している必要があります。→P113

1 通話中にメニュー▶「1 テレビ電話へ切替」▶「1 切替える」を押す



相手が切り替えに対応している場合に表示されます。

- 切り替え中は、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
- 切替中画面が表示されている間は、料金は加算されません。
- 「2 切替えない」：音声電話中の画面に戻ります。

2 画面に相手の映像が表示されたら、通話する

画面には相手側の設定により、相手の映像またはカメラオフ画像（→P106）などが表示されます。→P76

- テレビ電話に切り替わると、自動的にスピーカーホン機能を使用した通話になります。

お知らせ

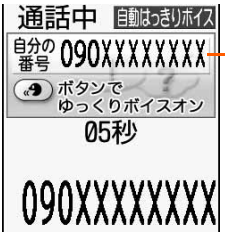
- 切り替えには5秒間程度かかります。電波状態によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 電波状態によっては、音声電話とテレビ電話の切り替えができず、電話が切れる場合があります。
- テレビ電話から音声電話に切り替えられます。→P103
- 音声電話とテレビ電話の切り替えは、繰り返し行えます。
- パソコンとつないだパケット通信中の場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- キャッチホンでの通話中は、テレビ電話に切り替えられません。
- 相手側がパケット通信中は、切り替えができない旨のメッセージが表示され、音声電話が継続されます。
- スピーカーホン機能は、テレビ電話から音声電話に切り替えるたびに解除されます。
- カメラの切り替えやくっきり補正、カメラオフ画像の送信などテレビ電話中に行った設定は、音声電話とテレビ電話を切り替えるたびに解除されます。→P105

通話中自局番号表示設定

自局電話番号を音声電話中画面に表示するかどうかを設定します

お買い上げ時　表示する

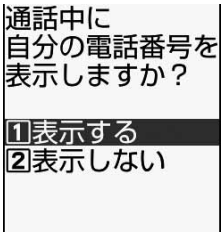
本機能を「表示する」に設定した場合、通話中の画面に自分の電話番号が表示されます。



自分の電話番号

次ページへ

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な機能・設定」▶「5電話・電話帳の詳細を設定する」▶「*通話中に自分の番号を表示する」を押す



2 「1表示する」または「2表示しない」を押す

通話中の自局番号表示を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

リダイヤル　メニュー 12

前にかけた相手にかけ直します

こちらからかけた電話を発信履歴（リダイヤル）として記録します。相手が話し中で電話がつながらなかった場合などに簡単な操作でかけ直せます。

- 最大30件記録されます。30件を超えた場合は、古いものから削除されます。
- 同じ電話番号に通知または非通知を設定してかけた場合は、それぞれ最新の1件のみが記録されます。
- 履歴表示制限中は、本機能を使用できません。→P194

1 待受画面で(電話帳)▶(メール)(Cメール)を押してかけ直すリダイヤルを表示する

- リダイヤルの番号
- 電話をかけた日付、曜日、時間、発信の種別（音声電話／テレビ電話）が表示されます。
- 電話番号が表示され、電話帳に登録しているときは名前も表示されます。→P117
- 国際電話をかけたときに表示されます。→P69
- 発信者番号の通知／非通知が表示されます。→P67

2 を押す

音声電話がかかります。

● テレビ電話：テレビ電話をかけます。

■ iモードメールを作成するとき

メニュー▶「9メールを作る」を押す

リダイヤルの電話番号をメールアドレスとともに電話帳に登録している場合は、その1件目のメールアドレスを宛先にしたメール作成画面（→P340）が表示されます。

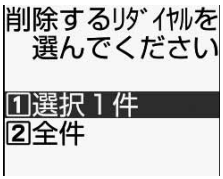
リダイヤルの削除

1件ずつ、またはすべてのリダイヤルをまとめて削除できます。

1 待受画面で▶を押して削除するリダイヤルを表示する

リダイヤルの表示画面が表示されます。

2 メニュー▶「8削除する」を押す



3 「1選択1件」または「2全件」を押す

選択した／全てのリダイヤルを削除した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

リダイヤルの表示画面に戻ります。リダイヤルがない場合や、全件削除した場合は、待受画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にします

電話をかけるときに相手の電話番号の前に特定の番号を付けることで、自分の電話番号を相手に通知するか通知しないかを選択できます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。
- 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
- 自分の電話番号を相手に通知するかどうかを設定するには、次の方法があります。
  - 電話をかけるときの発信者番号の通知／非通知をあらかじめ一括して設定→P53
  - 電話番号の前に「186」または「184」を付けて発信→P66
  - 電話をかけるときに発信者番号の通知／非通知をサブメニューから選択→P67

「186」／「184」を付けた電話のかけかた

「186」を付けて発信します

相手に電話番号を通知します。

1 待受画面で 1.あ/@ 8や TUV 6は MNO ▶電話番号を入力▶ を押す

電話がかかります。

- テレビ電話：テレビ電話をかけます。

「184」を付けて発信します

相手に電話番号を通知しません。

1 待受画面で 1.あ/@ 8や TUV 4た GHI ▶電話番号を入力▶ を押す

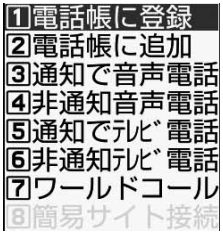
電話がかかります。

- テレビ電話：テレビ電話をかけます。

サブメニューからの通知／非通知の選択

電話番号を入力してから発信者番号の通知／非通知を選択します。リダイヤルや着信履歴などから電話をかけるときにも選択できます。

1 待受画面で電話番号を入力▶メニューを押す



2 「3通知で音声電話」～「6非通知テレビ電話」のいずれかを押す

■ 音声電話をかけるとき

「3通知で音声電話」または「4非通知音声電話」を押す

音声電話がかかります。

■ テレビ電話をかけるとき

①「5通知でテレビ電話」または「6非通知テレビ電話」を押す

通信速度（→P98）の選択画面が表示されます。

②「1 64Kテレビ電話」または「2 32Kテレビ電話」を押す

テレビ電話がかかります。

●着信履歴から操作するときは、「5 通知で音声電話」～「8 非通知テレビ電話」のいずれかを押します。

お知らせ

- 電話をかけたとき、発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知しておかけ直しください。
- 複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次のような順位（①→③）で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知の発信が異なる場合があります。
  ①相手の電話番号に「186」または「184」を付けた場合
  ②発信時にサブメニューから発信者番号の通知／非通知を選択した場合
  ③発信者番号通知の設定をした場合
- 相手の電話番号に「186」または「184」を付けて発信した場合、リダイヤルにはその番号がついた電話番号が記録されます。

プッシュ信号（DTMF）を送ります

FOMA端末からプッシュ信号（DTMF）を送って、ご自宅の留守番電話や各種のプッシュホンサービスなどを操作できます。また、音声電話をかけるときにポーズやタイマーを入力することにより、番号を区切って送出することができます。

音声電話中にプッシュ信号（DTMF）を送ります

1 通話中に0わをん〜9らWXYZ、＊、#改行マナー を押す

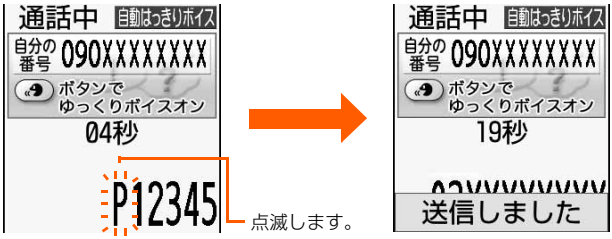
ポーズ「P」を入力するには

自宅の留守番電話の操作やチケットの予約などに利用します。

1 待受画面で電話番号を入力▶＊を1秒以上▶送出する番号を入力▶発信 を押す

〈例〉「03XXXXXXXXP12345」で発信したとき

電話がつながった後に 決定 を押すと、ポーズ（「P」）以降の番号が送出されます。



タイマー「T」を入力するには

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。外線番号と内線番号の間に「T」を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されます。

1 待受画面で電話番号を入力▶#改行マナー を1秒以上▶内線番号を入力▶発信 を押す

- タイマー 1つにつき、約1秒の間隔をとります。
- タイマーは連続して入力できます。

お知らせ

- プッシュ信号（DTMF）は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- スピーカーホン機能を使用する場合は、スピーカーホンに切り替えてからプッシュ信号（DTMF）を入力してください。

WORLD CALL

国際電話を利用します

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

- 通話方法

0わをん 0わをん 9らWXYZ 1.あ@ 3さDEF 0わをん▶0わをん 1.あ@ 0わをん▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号▶発信を押す

※ 上記の操作方法をFOMA端末の電話帳に登録できます。

※ 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせてご請求します。
- 申込手数料・月額使用料はかかりません。
  ※ FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 国際電話ダイヤル手順の変更について
  携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
  ※ ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

次ページへ

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法の後にテレビ電話モード（発信時にテレビ電話を押す）で発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者等の情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

簡単な方法による国際電話のかけかた

1 待受画面で国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力する

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

2 メニュー▶「7 ワールドコール」を押す

3 を押す

国際電話がかかります。
- テレビ電話：国際電話をテレビ電話でかけます。

お知らせ
- 国番号を含めた電話番号をあらかじめ電話帳に登録しておくと、簡単に国際電話をかけることができます。→P117

サブアドレスを指定して電話をかけます

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出します。

- サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です（ISDN回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など）。
  また、映像配信サービス「Vライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

1 待受画面で電話番号を入力▶＊（サブアドレスの区切り）▶サブアドレスを入力▶を押す

- テレビ電話のときはテレビ電話を押します。

お知らせ

- ポーズ（「P」）やタイマー（「T」）を入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号（DTMF）として送出されます。

再接続アラーム

途切れた電話を再接続するときのアラームを設定します

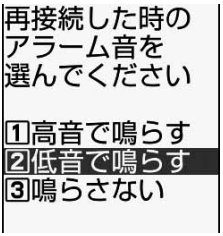
お買い上げ時　低音で鳴らす

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた音声電話やテレビ電話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラームを設定します。

- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
- 利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長10秒間です。
- 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
- 利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れてしまう場合があります。

次ページへ

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な機能・設定」▶「6音を設定する」▶「5再接続した時の音を選ぶ」を押す



2 「1高音で鳴らす」～「3鳴らさない」のいずれかを押す

アラーム音を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●(終了)を押すと待受画面に戻ります。

車載ハンズフリー

車の中で手を使わずに話します

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

●ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

お知らせ

●着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。ただし、ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でマナーモード中や着信音設定を「鳴らさない」に設定していても、電話がかかってくるとハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。

●ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末を折り畳んでも通話は継続されます。

●公共モード中の着信動作は、公共モードの設定に従います。

●伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。

●ハンズフリー対応機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、ハンズフリー対応機器からの通信速度設定に従います。設定されていない場合は、64K固定でテレビ電話を発信します。

●ハンズフリー対応機器からテレビ電話をかけたり受けたりした場合、相手にはカメラオフ画像（→P106）が送信されます。

電話を受けます

ここでは、音声電話の受けかたを説明します。

●FOMA端末を開くだけでは電話に出ることはできません。

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ランプと☎が点滅します。

●FOMA 端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「電話です」が表示されます。→P31

2 ☎を押す

お話しください。

ディスプレイには通話時間が表示されます。

3 お話しが終わったら☎を押す

●FOMA端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

ディスプレイの表示について

相手からの発信状況やFOMA端末の設定に従って、電話番号や名前、画像などがディスプレイに表示されます。

●電話番号が通知されたときは、背面ディスプレイにも電話番号や電話帳に登録している名前が表示されます。電話番号が通知されていないときは、発信者番号非通知理由が表示されます。

・背面ディスプレイに情報を表示しないように設定できます。→P173

次ページへ

■ 相手が電話番号を通知してきたとき

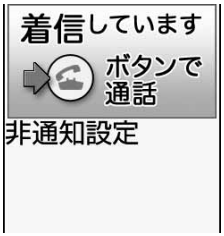
相手の電話番号を電話帳に登録していない場合は、相手の電話番号が表示されます。

- 着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定している場合は、その映像が表示されます。

相手の電話番号を電話帳に登録している場合は、相手の名前と電話番号が表示されます。→P117

- ワンタッチダイヤルに登録している場合は、相手の名前とワンタッチダイヤルに設定した着信画像が表示されます。→P142
- ワンタッチダイヤルの着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定している場合は、その映像が表示されます。動画／ｉモーションが音声のみ（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合は、ワンタッチダイヤルに設定した着信画像が表示されます。

■ 相手の都合で電話番号が通知されなかったとき



発信者番号非通知理由が表示されます。

非通知理由	意　味
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります）

- 音声電話がかかってきた場合、非通知理由別着信設定で設定した着信動作が優先されます。→P200

音声電話着信中のサブメニューからの操作について

着信音が鳴っている間にサブメニュー（→P37）から次の操作ができます。
通話中着信動作選択（→P540）を「通常着信する」に設定していると、音声電話中に別の音声電話がかかってきたときも同様に操作できます。

サブメニュー	説　明
1 伝言メモ※1	伝言メモで応対します（クイック伝言メモ）。
2 留守番電話※2	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
3 転送でんわ※3	かかってきた電話を転送登録先へ転送します。
4 着信拒否	電話が切れます。相手側に通話料金はかかりません。

※1：通話中に別の電話がかかってきたときは選択できません。
※2：留守番電話サービスをご契約いただいている場合に有効です。
※3：転送でんわサービスをご契約いただき、転送先を登録している場合に有効です。

音声電話中に「ププ…ププ…」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただくと、音声電話中に別の音声電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえます。このとき、次の動作が可能です。

ご契約の内容	動　作
留守番電話サービス※	留守番電話サービスセンターに接続します。→P536
キャッチホン	通話中の音声電話を保留にして、かかってきた電話に応答します。→P538
転送でんわサービス※	転送登録先へ転送します。→P538

※：通話中着信設定を「開始する」に設定し、通話中着信動作選択を「通常着信する」に設定した場合に限り、選択できます。→P540

- キャッチホンを契約されていない場合は、通話中着信音（「ププ…ププ…」）が鳴っても電話は受けられません。

お知らせ

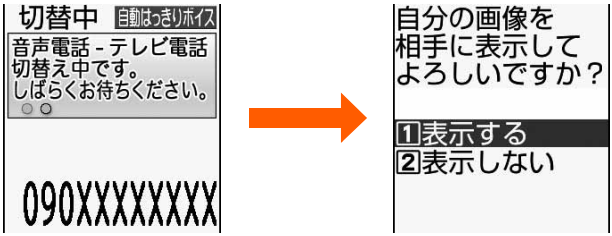
- 電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときに、着信音などの呼出動作をすぐに開始しないように設定したり（→P202）、着信を拒否したり（→P204）できます。
- 電話帳に登録している相手に対して、着信拒否を設定できます。→P197
- i モード中でも音声電話の着信を受けることができます。電話を切ると、通話前に表示していた i モードの画面に戻ります。
- 複数の通信機能を同時に利用することができます（マルチアクセス）。→P604
- FOMA端末から転送された電話がかかってきた場合は、着信画面の左下に転送元の電話番号が「転：XXX…」のように表示されます。転送元の電話番号を電話帳に登録している場合は名前が表示されます。ただし、転送元によっては、転送元の電話番号や名前が表示されないことがあります。着信音に映像のある動画／ i モーションを設定している場合や、ワンタッチダイヤルに発信元の電話番号を登録していて、着信画像を設定している場合は、転送元の電話番号は表示されません。
- 音声電話中にメールを受信すると受信中に✉、メッセージR/Fを受信すると受信中にR/Fがディスプレイ上部に点滅表示されます。メールの受信が完了した場合は、ディスプレイ上部に📪が表示されます。電話を切って待受画面に戻ると、メールを受信した場合は未読メールがあることを示す✉、メッセージR/Fを受信した場合は未読のメッセージR/Fがあることを示すR/Fがディスプレイ下部に表示されます。また、メールを受信した場合は新着情報も表示されます。→P29
- 国際電話を着信した場合、発信者番号の先頭に「+」が表示されます。
- ビル電話やPBXなど、ダイヤル市外通話のできない電話機からは、FOMA端末へ電話をかけられません。

テレビ電話への切り替えに応じます

音声電話をかけてきた相手がテレビ電話に切り替えたときには、対応する操作が必要です。

- 切り替えは、音声電話をかけた側の端末からのみ操作できます。
- テレビ電話への切り替えに応じるには、テレビ電話切替え通知を開始しておく必要があります。→P113

1 音声電話中にテレビ電話への切り替え要求を受ける



- 切り替え中は、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

2 「1表示する」を押す

テレビ電話に切り替わり、相手にカメラ映像が送信されます。

- 「2表示しない」を押すと、カメラオフ画像（→P106）が送信されます。

3 画面に相手の映像が表示されたら、通話する

画面には相手の設定により、相手の映像またはカメラオフ画像などが表示されます。

オートスピーカーホン機能

自動で電話を受けます

お買い上げ時　解除する

音声電話がかかってきて着信音が約4秒間鳴った後、自動で電話を受けるように設定します。電話を受けるとスピーカーから相手の声が聞こえます。

- スピーカーホン機能を使用するときには、FOMA 端末から約 50cm 以内の距離でお話しください。
- 本機能を設定すると、音量が大きくなりますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。
- 公共モード中またはマナーモード中は、本機能は動作しません。→P85、P169

1 **待受画面で(メニュー)▶「9詳細な機能・設定」▶「5電話・電話帳の詳細を設定する」▶「8オートスピーカーホンを設定する」を押す**

オートスピーカーホンを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1設定する」を押す**

オートスピーカーホンを設定した旨のメッセージが表示されます。

●「2解除する」：オートスピーカーホン機能を解除します。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

●(終了)を押すと待受画面に戻ります。

●オートスピーカーホンの設定中はディスプレイ上部に が表示されます。

お知らせ

- 本機能はテレビ電話には対応していません。
- 電話を受けた後の動作は、スピーカーホン機能を使用した通話と同様です。→P61
- 次の場合は、本機能を設定していても動作しません。
  - 自動的に電話がつながる前に(通話)を押して電話を受けた場合
  - 通話中に電話がかかってきた場合
  - FOMA端末を折り畳んでいる場合
  - 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や外部機器などを接続中の場合
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを開始に設定している場合、設定した時間によって動作の優先が異なります。
- 本機能と伝言メモを同時に設定している場合、設定した呼出時間によって動作の優先が異なります。
- 非通知理由別着信設定（→P200）、電話帳指定着信拒否／許可（→P197）、登録外着信拒否（→P204）を設定中は、着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。
- 本機能と無音着信時間設定（→P202）を同時に設定している場合、無音着信時間を4秒以上に設定すると、本機能は動作しません。

着信履歴

着信履歴を利用します

メニュー 11

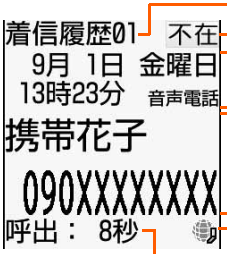
かかってきた電話に応答した履歴や、電話に出なかったとき（不在着信）の履歴を記録しておく機能です。伝言メモに録音されたときも記録されます。

次ページへ

●最大30件記録されます。30件を超えた場合は、古いものから削除されます。
●不在着信の場合は、着信してから相手が呼び出しを止めるまでの時間（呼出時間）が表示されます。覚えのない番号からの不在着信があった場合、着信履歴を残す目的だけの迷惑電話（「ワン切り」など）なのかどうかを確認できます。
●履歴表示制限中は、本機能を使用できません。→P194

〈例〉着信履歴から電話をかけるとき

1 待受画面で▶を押して目的の着信履歴を表示する



着信履歴の番号
不在着信の場合は不在、伝言メモが録音または録画されている場合は伝言が表示されます。
電話がかかってきた日付、曜日、時間、着信の種別（音声電話／テレビ電話／64Kデータ）が表示されます。
電話番号が表示され、電話帳に登録しているときは名前も表示されます。→P117
発信者番号が非通知の場合は発信者番号非通知理由が表示されます。→P74
国際電話がかかってきたときに表示されます。
不在着信の場合は呼出時間が表示されます。

2 を押す

音声電話がかかります。
●テレビ電話：テレビ電話をかけます。
●伝言メモが録音または録画されている着信履歴は、決定を押すと伝言メモを再生できます。

■ iモードメールを作成するとき

メニュー▶「0メールを作る」を押す

着信履歴の電話番号をメールアドレスとともに電話帳に登録している場合は、その1件目のメールアドレスを宛先にしたメール作成画面（→P340）が表示されます。

かかってきた電話に出なかったとき（不在着信）

かかってきた電話に出なかったときは、待受画面に新着情報（→P29）と が表示されます。
また、FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに着信が表示されます。

お知らせ

- 無音着信時間設定（→ P202）で設定した無音着信時間内の不在着信も含め、すべての着信履歴を表示する場合は、着信履歴の表示画面でメニュー▶「✱表示切替」▶「1すべての着信」を押します。通常の着信履歴表示に戻す場合は、メニュー▶「✱表示切替」▶「2呼出あり着信」を押します。
- 無音着信時間設定で設定した無音着信時間内の不在着信のみが着信履歴に記録されている場合、待受画面で[電話]を押すと、表示されていない不在着信履歴がある旨の確認画面が表示されます。「1表示する」を押すと、無音着信時間内の不在着信履歴が表示されます。
- 会社などでダイヤルインをご利用の相手からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合、着信履歴には着信時の種別（音声電話またはテレビ電話）が記録されます。

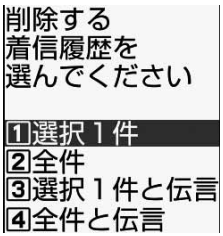
着信履歴の削除

1件ずつ、またはすべての着信履歴をまとめて削除できます。伝言メモが録音または録画されている着信履歴は、伝言メモを同時に削除することもできます。

1 待受画面で[電話]▶[メール][履歴]を押して削除する着信履歴を表示する

着信履歴の表示画面が表示されます。

2 メニュー▶「4削除する」を押す



1選択1件　：表示していた1件の着信履歴を削除します。
2全件　：着信履歴を全件削除します。
3選択1件と伝言：表示していた1件の着信履歴と伝言メモを削除します。
4全件と伝言　：着信履歴と伝言メモを全件削除します。

3 「1選択1件」～「4全件と伝言」のいずれかを押す

選択した／全ての着信履歴を削除した旨、または選択した／全ての着信履歴と伝言メモを削除した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

着信履歴の表示画面に戻ります。着信履歴がない場合や、全件削除した場合は、待受画面に戻ります。

- [電話]を押すと待受画面に戻ります。

受話音量

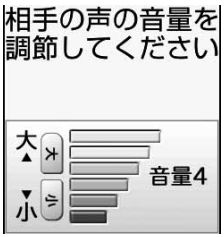
相手の声の音量を調節します

お買い上げ時　音量4

- 音量1（最小）～音量6（最大）の6段階で調節できます。
- 受話音量は電源を切っても保持されます。
- 受話音量は、ボタン確認音や伝言メモの再生音量にも反映されます。

通話中の調節

1 通話中に（メール）（電話帳）または（大）（小）を押す

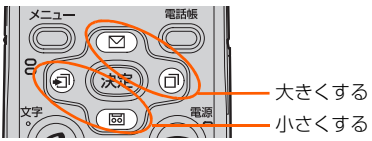


- テレビ電話中の音量調節は（大）（小）のみ有効です。

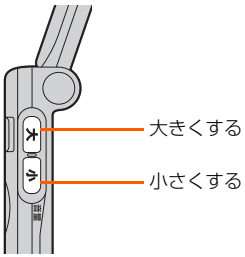
2 （メール）（電話帳）（ナビ）（ブラウザ）または（大）（小）を押して音量を調節する

- 次のボタンを押して音量を調節できます。

＜マルチカーソルボタンを使うとき＞



＜音量ボタンを使うとき＞



- （決定）、（戻る）、（終了）を押すか、ボタンの操作を止めてしばらくすると音量が設定され、通話中の画面に戻ります。

待受中の調節

1 待受画面で(メニュー)▶「8 初めに行う設定」▶「5 相手の声の音量を調節する」を押す

2 (メール)(電話帳)(↓)(□)または(大)(小)を押して音量を調節▶決定を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●(終了)を押すと待受画面に戻ります。

着信音量

着信音の音量を調節します

お買い上げ時　音量4

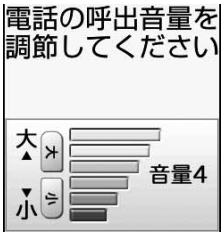
●消音、音量1～音量6の7段階で調節できます。待受中は「だんだん大きく」にも設定できます。

●待受中に設定した着信音量は、電源を切っても保持されます。

●待受中に設定した着信音量は、電池残量確認音、メール受信音量、および予定を通知する音声の音量にも反映されます。

着信中の調節

1 着信中に[メール][ｉモード]または[大][小]を押す

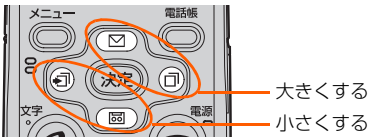


●音量1のときに[ｉモード]／[ｉアプリ]／[小]：
「消音」に設定します。

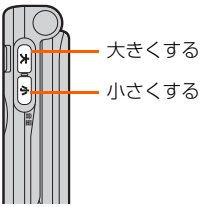
2 [メール][ｉモード][ｉアプリ][カメラ]または[大][小]を押して音量を調節する

●次のボタンを押して音量を調節できます。

＜マルチカーソルボタンを使うとき＞

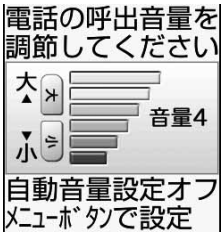


＜音量ボタンを使うとき＞



待受中の調節

1 待受画面で[メニュー]▶「8初めに行う設定」▶「3電話を受けた時の音を設定する」▶「2電話を受けた時の音量を調節する」を押す



2 [▽][▽][▽][▽]または[大][小]を押して音量を調節▶決定を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。

●音量6のときに[▽]／[▽]／[大]：
「だんだん大きく」（消音→音量1→…→音量6）に設定します。

●音量1のときに[▽]／[▽]／[小]：
「消音」に設定します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●[終了]を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●着信音量を消音に設定しているときは、待受画面にSが表示されます（S:SILENT（サイレント））。また、同時に電話のバイブレータを設定中は、SVが表示されます。

●着信音量を消音に設定しても、電話がかかってきたときにディスプレイのメッセージ表示の他に、バイブレータの振動や背面ディスプレイのメッセージ表示でお知らせするように設定できます。→P164、P173

騒音の中での自動音量調節の設定<自動音量設定>

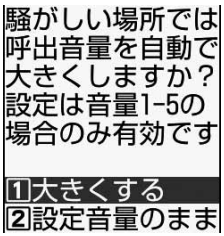
お買い上げ時　大きくする

本機能を「大きくする」に設定すると、音声電話やテレビ電話がかかってきたときに周囲の騒音レベルを測定し、一定レベルを超えると待受中に設定した着信音量がだんだん大きくなるように設定します。

●着信音量を音量1～音量5に設定している場合のみ、本機能が動作します。

●マナーモード中は、本機能は動作しません。

1 待受画面でメニュー▶「8初めに行う設定」▶「3電話を受けた時の音を設定する」▶「2電話を受けた時の音量を調節する」▶メニューを押す

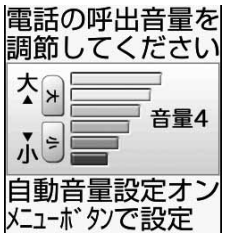


1大きくする　：自動音量設定オンに設定します。騒音が多い場合に音量をだんだん大きくします。

2設定音量のまま：自動音量設定オフに設定します。自動調節しません。

次ページへ

2 「1大きくする」または「2設定音量のまま」を押す



＜「1大きくする」を押した場合＞

音量調節画面が表示され、自動音量設定オン／オフが確認できます。

●(☎)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 騒音レベル測定中は、背面ディスプレイや着信音、バイブレータ、ランプは動作せず、騒音レベル測定完了後より開始されます。
- 騒音レベル測定中にボタン操作を行うと、本機能は動作しません。
- 騒音レベル測定中は音量の調節はできません。

応答保留

すぐに電話に出られないとき保留にします

●応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

1 着信中に(☎)を押す

応答保留になります。相手には「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」という応答保留ガイダンスが流れます。

●テレビ電話の場合は、相手には応答保留ガイダンスとともにテレビ電話応答保留画像が送信されます。

＜音声電話応答保留中＞

＜テレビ電話応答保留中＞

●応答保留中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイに「応答保留中」または「テレビ電話応答保留中」が表示されます。

●応答保留中に(☎)を押すか、相手が電話を切ると、通話は切れます。

2 電話に出られる状態になったら(通話)を押す

- テレビ電話の応答保留中に(テレビ電話)：保留を解除しカメラ映像を送信します。
- テレビ電話の応答保留中に(通話)：保留を解除しカメラオフ画像(→P106)を送信します。

お知らせ

- オートスピーカーホン機能を設定中は、着信してからオートスピーカーホン機能が動作するまでの約4秒間に応答保留の操作を行ってください。→P76

公共モード（ドライブモード）

運転中や通話を控える必要のある場所で電話を受けないようにします

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館等）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、切断されます。

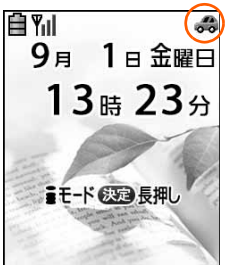
- 公共モードの設定や解除は、待受中のみできます。ディスプレイ上部に圏外が表示されているときでも可能です。
- 公共モード中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- 公共モード中は次の機能は動作しません。
  - マナーモード
  - 伝言メモ
  - オートスピーカーホン機能
- 緊急通報（110番、119番、118番）をすると、本機能は解除されます。
- 本機能は、データ通信中は利用できません。

公共モード（ドライブモード）の設定

1 待受画面で(*)を1秒以上押す

公共モード（ドライブモード）を設定した旨のメッセージが表示されます。

2 決定を押す



待受画面に戻ります。

- 本機能を設定中は待受画面に🚗が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに🚗が表示されます。
- 着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

公共モード（ドライブモード）を設定すると

音声電話がかかってきたときは相手に運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。テレビ電話がかかってきたときは相手に公共モードの映像ガイダンスが表示され、電話が切れます。いずれの場合も、お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には新着情報（→P29）が表示され、着信履歴に記録されます。

●次の音が鳴りません。また、バイブレータやランプも動作しません。

- 電話および64Kデータ通信の着信音
- 目覚ましや予定のアラーム音
- 充電開始音
- メールやメッセージR/Fの着信音
- 電池残量警告音※
- 充電完了音

※：FOMA端末を折り畳んでいるとき、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示もされません。

●メールやメッセージR/Fを受信しても、受信中画面や受信結果画面は表示されません。ただし、ｉモード問合せを行った場合は、受信中画面や受信結果画面が表示されます。また、このときにメールやメッセージR/Fを受信すると受信中画面が表示され、受信が完了すると受信結果画面が更新されます。

●FOMA端末を折り畳んでいる場合に、電話の着信、メールやメッセージR/Fを受信したときなどは、背面ディスプレイに新着情報が表示されます。

●ｉチャネルのテロップは表示されません。

公共モード（ドライブモード）の解除

1 公共モード（ドライブモード）中に待受画面で を1秒以上押す

公共モード（ドライブモード）を解除した旨のメッセージが表示されます。

2 決定 を押す

待受画面に戻ります。

ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード）中の着信動作

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に公共モードのガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※1	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されずに、留守番電話サービスセンターに接続されます。※2
転送でんわサービス	相手に公共モードのガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。※1 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されずに、転送先に転送されます。※2 転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。
キャッチホン	相手に公共モードのガイダンスが流れた後、切断されます。	相手に公共モードの映像ガイダンスが表示された後、切断されます。
迷惑電話ストップサービス	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否のガイダンスが流れた後、切断されます。※3	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。※3
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。※3 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスが流れた後、切断されます。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが表示された後、切断されます。※3 • 相手が電話番号を通知している場合は、公共モードの映像ガイダンスが表示された後、切断されます。

※1：留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定している場合は、公共モードのガイダンスは流れず、着信履歴には記録されません。

※2：留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定している場合は、着信履歴には記録されません。

※3：着信履歴には記録されません。

公共モード（電源OFF）

電源を切る必要のある場所で電話を受けないようにします

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定すると、電源を切っている間の着信時に電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近等）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。

公共モード（電源OFF）の設定

1 待受画面で＊2 5 2 5 1 ▶ を押す

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。

公共モード（電源OFF）設定後、電源を切っている間の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

公共モード（電源OFF）を設定すると

音声電話がかかってきたときは、相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。テレビ電話がかかってきたときは、相手に公共モードの映像ガイダンスが表示され、電話が切れます。

- 「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源 OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
- サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れます。

公共モード（電源OFF）の解除

1 公共モード（電源OFF）中に待受画面で＊2 5 2 5 0 ▶ を押す

公共モード（電源OFF）が解除されます。

公共モード（電源OFF）の設定内容を確認

1 待受画面で＊2 5 2 5 9 ▶ を押す

現在の設定内容のガイダンスが流れます。

ネットワークサービスと公共モード（電源OFF）中の着信動作

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されずに、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス	相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。※ 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されずに、転送先に転送されます。 転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。
迷惑電話ストップサービス	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否のガイダンスが流れた後、切断されます。	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、切断されます。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが表示された後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。

※：留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定している場合は、公共モード（電源OFF）のガイダンスは流れません。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音／録画します

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、音声電話がかかってきた場合は相手の用件を録音します。テレビ電話がかかってきた場合は録画します。

- 音声電話とテレビ電話を合わせて最大４件、１件につき約30秒間録音または録画できます。
- 個人情報表示制限中や履歴表示制限中は、本機能を使用できません。→P194
- 伝言メモの内容は、別にメモを取るなどして保存してください。FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって、録音や録画内容が消失してしまう場合があります。万一、録音や録画内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

伝言メモの設定

メニュー 152

お買い上げ時　停止する

1 待受画面で［回］を1秒以上押す

伝言メモを設定した旨のメッセージが表示されます。

2 決定を押す

待受画面に戻ります。

- ［☎］を押しても待受画面に戻ります。
- 伝言メモの設定中は待受画面に［回］が表示されます。
- 本機能を停止する場合は待受画面で［回］を1秒以上押して決定を押します。

お知らせ

- 伝言メモが4件録音または録画されると、待受画面に［回 FULL］が表示されます。このマークは、これ以上伝言メモを録音または録画できないという意味です。伝言メモを停止してもマークは消えません。
- 伝言メモがすでに4件録音または録画されている場合は、伝言メモを設定できません。不要な伝言メモを削除してから操作をやり直してください。→P96

伝言メモを設定したときは

- 伝言メモを設定していても電話を受けられます。

1 電話がかかってくる

＜音声電話伝言メモ応答中＞

＜テレビ電話伝言メモ応答中＞

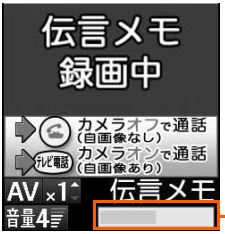
呼出時間設定の設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモ応答中の画面が表示され、相手には伝言メモ応答メッセージが流れます。

- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「伝言メモ起動中」または「テレビ電話伝言メモ中」が表示されます。

2 相手のメッセージが録音または録画される

録音終了までの目安が表示されます。

＜音声電話伝言メモ録音中＞

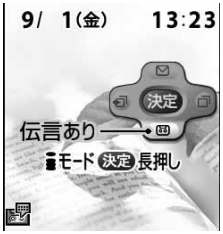


録画終了までの目安が表示されます。

＜テレビ電話伝言メモ録画中＞

●録音または録画の開始時と終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。また、録音または録画開始時から約25秒後に、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

3 録音または録画が終了すると、電話が切れる



伝言メモが録音または録画されると、待受画面に新着情報（→P29）と が表示されます。

●FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに伝言が表示されます。

お知らせ

- 伝言メモ応答中、伝言メモ録音または録画中でも電話に出ることができます。音声電話の場合は を押します。テレビ電話の場合はテレビ電話を押すと相手にカメラ映像を送信し、を押すとカメラオフ画像（→P106）を送信します。このとき、電話を受けるまでの録音内容や録画内容は記録されません。
- 圏外が表示されているときは、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービスをご利用ください。
- 伝言メモがすでに4件録音または録画されている場合は、伝言メモ機能は動作せずに着信音が鳴り続けます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが動作します。
- 電波の状態により、伝言メモの録音内容が途切れたり、録画画像が乱れたりする場合があります。
- 伝言メモが録音または録画された場合でも、着信履歴に記録されます。
- 伝言メモ録音または録画中に別の電話がかかってきた場合は、着信を拒否して録音または録画を継続します。

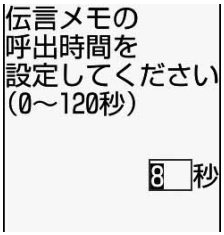
録音または録画開始までの時間設定＜呼出時間設定＞

お買い上げ時 8秒

電話がかかってきてから応答メッセージが流れるまでの時間を設定します。

次ページへ

1 待受画面でメニュー▶「1電話帳を使う・履歴を見る」▶「5伝言メモを使う」▶「2伝言メモを設定する」▶「3呼出時間設定」を押す



2 呼出時間を入力▶決定を押す

呼出時間を設定した旨のメッセージが表示されます。

●0～120秒の範囲で設定できます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●オート着信機能設定（平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続時→P529）、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの呼出時間を各サービスの呼出時間設定よりも短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されない場合があります。

●オート着信機能設定の応答時間と本機能の呼出時間を同じ時間に設定できません。→P529

●オートスピーカーホン機能と本機能を同時に設定している場合、本機能の呼出時間を3秒以下に設定していると本機能が動作します。→P76

●無音着信時間の設定に関わらず、着信した時点から伝言メモの呼出時間がカウントされます。→P202

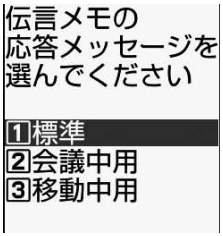
伝言メモ応答メッセージの選択<伝言メモメッセージ選択>

お買い上げ時　標準

●応答メッセージは、次の3種類から選択できます。

種　類	内　容
1標準	ただいま、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話しください。
2会議中用	会議中のため、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話しください。
3移動中用	移動中のため、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話しください。

1 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う・履歴を見る」▶「5伝言メモを使う」▶「3伝言メモの応答メッセージを選ぶ」を押す



- (電話帳)：応答メッセージを再生します。
- 応答メッセージ再生中に(▽)(▷)／(大)(小)：再生中の応答メッセージの音量を調節します。
- 応答メッセージ再生中に(☎)：受話口からの再生とスピーカーホン機能を使用した再生を切り替えます。

2 「1標準」～「3移動中用」のいずれかを押す

伝言メッセージを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- (☎)を押すと待受画面に戻ります。

クイック伝言メモ

着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画します

伝言メモが停止中でも、着信中に操作を行うと、その着信に限り伝言メモを動作させることができます。

- この操作は、伝言メモを設定するものではありません。

1 着信中に(メニュー)▶「1伝言メモ」を押す

＜音声電話伝言メモ応答中＞

＜テレビ電話伝言メモ応答中＞

伝言メモ応答中の画面が表示され、相手のメッセージが録音または録画されます。

次ページへ

お知らせ

●伝言メモがすでに4件録音または録画されている場合は、本機能を使用できません。不要な伝言メモを削除してください。→P96

メニュー 151

伝言メモを再生／削除します

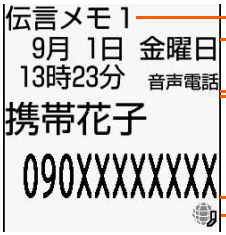
●未確認の伝言メモがあるときは、待受画面に新着情報（→P29）と が表示されます。
●個人情報表示制限中や履歴表示制限中は、本機能を使用できません。→P194

伝言メモの再生

1 待受画面で［画］を押す

●伝言メモが録音または録画されていない場合は、伝言メモがない旨のメッセージが表示されます。

2 決定を押す



- 伝言メモの番号
- 伝言メモを録音または録画した日付、曜日、時間、着信の種別（音声電話／テレビ電話）が表示されます。
- 電話番号が表示され、電話帳に登録している場合は名前も表示されます。→P117
  発信者番号が非通知の場合は、発信者番号非通知理由が表示されます。→P74
- 国際電話がかかってきたときに表示されます。

3 [メール][留守] を押して再生する伝言メモを表示▶[決定]を押す

時間経過の目安が表示されます。

＜音声電話伝言メモ再生中＞　＜テレビ電話伝言メモ再生中＞

伝言メモが再生されます。

- [決定]：伝言メモの再生を途中で停止します。
- [メール][留守]／[大][小]：再生中の伝言メモの音量を調節します。
- [受話口]：受話口からの再生とスピーカーホン機能を使用した再生を切り替えます（音声電話伝言メモ再生中のみ）。
- テレビ電話伝言メモ再生中はスピーカーホン機能を使用して再生されます。受話口からの再生への切り替えはできません。
- マナーモード中にテレビ電話伝言メモを再生するときは、音声を再生するかどうかの確認画面が表示されます。「1再生する」を押すと、スピーカーホン機能を使用して再生されます。「2再生しない」を押すと、消音で再生されます。

再生が終了すると、伝言メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1削除する」または「2削除しない」を押す

■ 削除するとき

「1削除する」▶[決定]を押す

次の伝言メモの表示画面が表示されます。

- 次の伝言メモがない場合は待受画面に戻ります。

■ 削除しないとき

「2削除しない」を押す

伝言メモの表示画面に戻ります。

- [終了]を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 伝言メモの表示画面で[受話口]を押すと音声電話、[テレビ電話]を押すとテレビ電話をかけることができます。また、サブメニューから発信者番号の通知／非通知を選択して音声電話やテレビ電話をかけることもできます。→P67

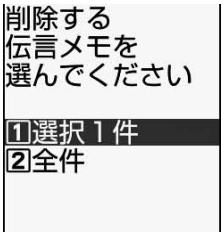
伝言メモの削除

1件ずつ、またはすべての伝言メモをまとめて削除できます。

1 待受画面で 留守 ▶ 決定 ▶ ✉ 留守 を押して削除する伝言メモを表示する

伝言メモの表示画面が表示されます。

2 メニュー ▶「9削除する」を押す



3「1選択1件」または「2全件」を押す

選択した／全ての伝言メモを削除した旨のメッセージが表示されます。

4 決定 を押す

伝言メモの表示画面に戻ります。伝言メモがない場合や、全件削除した場合は、待受画面に戻ります。

- ☎を押すと待受画面に戻ります。